

施策1-3 鉄道の利用促進強化

- JRや一畑電車などの鉄道について、沿線市町や交通事業者、関係者と連携して利用促進を強化します。

■JRの乗り方教室の開催



資料：出雲市交通政策課

■一畑電車のお仕事体験の開催



資料：一畑電車(公式SNS)

■JR利用促進会議の様子



資料：出雲市交通政策課

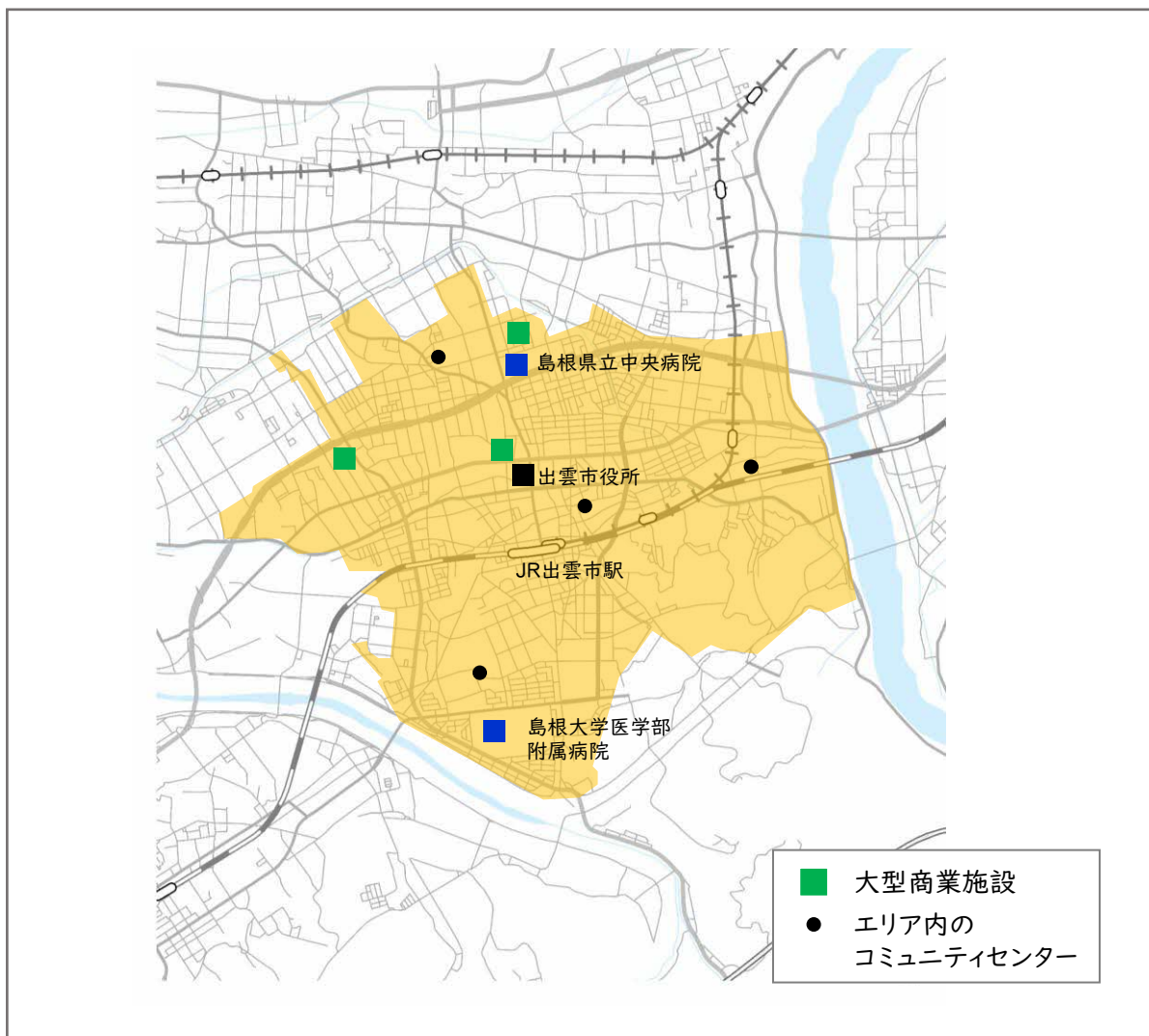


実施主体	出雲市、交通事業者、その他(沿線自治体等)	対応する SDGs	
実施期間			
関連施策	施策1-1, 施策8		

施策2 中心市街地形成エリアの利便性向上

- 中心市街地形成エリアは、特に公共交通の利便性を高めるエリアとして設定し、須佐線や大社線、日御碕線の延伸や等間隔ダイヤ等を検討し、エリア内の利便性を高めます。
- 複数のバス路線によって利便性を高めた中心市街地形成エリアの交通は、共通時刻表等を作成して利用者にわかりやすく情報提供します(施策5)。

■ 中心市街地形成エリア



実施主体	出雲市、交通事業者	対応する SDGs	   
実施期間			
関連施策	施策5、施策9		

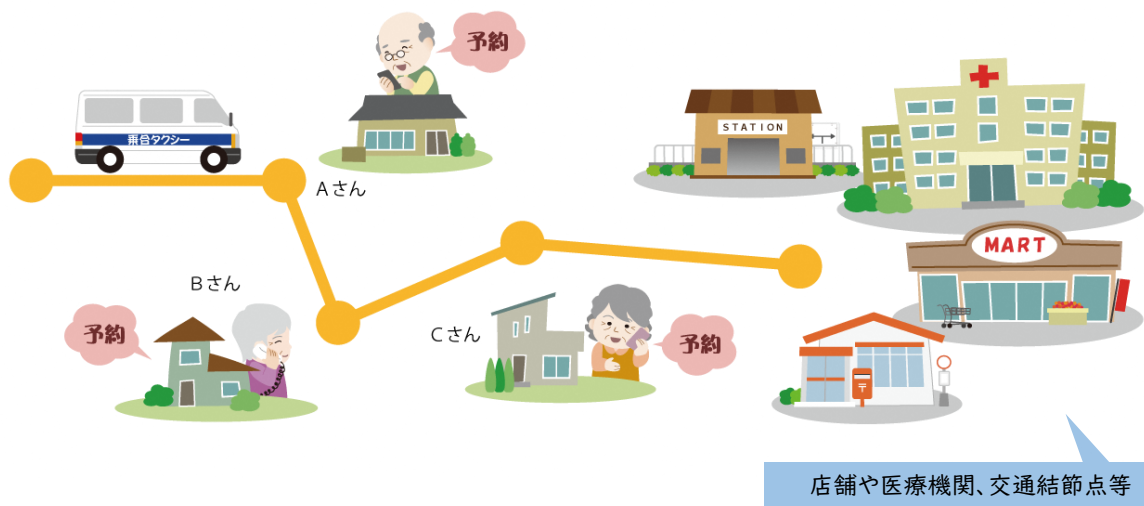
施策3 高齢者が利用しやすい新たな地域内交通の導入



- 地域の実情に即した新たな地域内交通として、ドアツードアによるオンデマンド乗合タクシーの導入を地域との協働により検討します。
- 運行エリアはコミュニティセンター単位を基本としますが、地域の実情に応じて複数のコミュニティセンターエリアを合わせて運行することも視野に検討します。

■ 新たな地域内交通（乗合タクシー）の基本的な考え方

運行エリア	<ul style="list-style-type: none"> ● 単独または複数のコミュニティセンターエリア ● エリア内での運行を基本とし、エリア内の店舗や医療機関、交通結節点等により乗り継ぎなしで行き帰りできるようにする ● ただし、地域の実情に応じてエリア外の目的地の設定も検討する
利用方法 (運行方法)	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者は電話やスマートフォンを使用して予約を行い、自宅近くから決められた目的地まで利用できる ● 同じ方向や時間帯の近い予約では、複数の利用者に乗り合わせて利用してもらうことで、効率的な運行を図る
運行時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 曜日や時間帯を限定して運行（例：平日の9時～16時など）

■ 利用イメージ



実施主体	出雲市、交通事業者、地域住民	対応する SDGs	 
実施期間			
関連施策	施策1-1, 施策1-2, 施策7-1, 施策7-2, 施策9, 施策13-2		

施策4 交通結節点や主要施設等の待合環境の整備

- 主要交通結節点である出雲市駅やその他の交通結節点において、全ての利用者がより円滑に利用できるよう利便性向上に向けた環境整備を検討します。
- また、出雲地域の主要施設や利用者の多いバス停などにおいて、利用者が快適にバスやタクシーを待つことができる環境整備を検討します。

<待合環境整備の検討例>

- バスの到着がわかりにくい待合スペースでの、デジタルサイネージを活用したリアルタイムの情報提供
- 屋内の待合環境整備や椅子の設置などによる待合環境の整備・改善
- 案内看板の整備などによるわかりやすい乗り継ぎ経路の案内や待合場所の提示 など

■ 出雲市駅周辺の待合環境



バス停には多言語表示のデジタルサイネージが設置されている(左)が、屋内の待合スペースでは路線バスに関する情報提供がない(右)

■ 出雲大社前駅周辺の待合環境



屋内の待合スペースでは路線バスに関する情報提供がなく(左)、外でバスを待つ利用者も多いバス停の近くに喫煙スペースがある(右)

実施主体	出雲市、交通事業者、周辺施設等	対応する SDGs	 
実施期間			
関連施策	施策1-1		

施策5 わかりやすい時刻表やマップの作成と多言語化

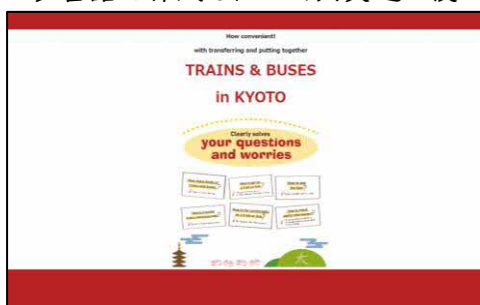
- 既存の公共交通マップや時刻表の整理見直しを行い、高齢者や初めて市内の公共交通を利用する来訪者などにもわかりやすいものとします。特に多くの路線が重複する中心市街地形成エリアについては、共通時刻表を作成するなど、情報提供の方法を工夫します。
- 時刻表や路線図、ホームページ等の多言語化を検討し、市内に居住する外国籍の人や国外から観光に訪れた人が気軽に公共交通を利用できるようにします。

■行き先が番号でわかる、全事業者共通バスマップの例



広島県 広島都市圏

■多言語で作成された公共交通の使い方説明サイトやバスマップ



京都府京都市



実施主体	出雲市、交通事業者	対応するSDGs	
実施期間			
関連施策	施策2, 施策8, 施策11		

施策6 通勤・通学のしやすい環境づくり

- 公共交通を利用して通勤・通学しやすい環境を整備するため、既存のバス路線のダイヤ等の見直しを行います。
- 公共交通の運行情報や利用方法などについて、高校生への入学前に周知するなど、タイミングを計った周知・利用促進を行います(施策8)。
- パークアンドライドによる利用促進を図るため、駅周辺の駐車場や駐輪場の整備を進めます。

■ 高校生を対象にした利用促進の取組事例

啓発資料の配布

高校生とその保護者を対象に、クルマ利用の自粛を呼びかける啓発資料を配布

クルマと健康・ダイエット

クルマと環境

クルマと交通安全

クルマはとても便利で、快適な乗り物です。しかし、クルマのある生活には、困ったこともいくつかあります。ここでは、このことについて、すこし考えてみましょう。

岡山県立高梁高等学校

岡山県高梁市

個々人に沿った情報提供

公共交通への転換意向がある家庭などに対して、通学における公共交通利用ルートや時刻表、消費カロリー、CO2排出量等、生徒一人ひとりに沿った情報提供資料を配布

通学を見直そう!

公共交通での通学ルート

消費カロリーとCO2排出量の比較

月間消費カロリー200月の目標

達成するための努力



実施主体	出雲市、交通事業者	対応するSDGs	
実施期間			
関連施策	施策7-2、施策8		